

医師養成のグランドデザイン

全国医学部長病院長会議からの提言

医学部入学
卒前1年目

卒前

1. 1年目：一般教養の習得
 - 1) 医師になることをめざす学生に必要な基礎教育
 - 2) 医師不適格者の進路変更

卒前2年目

2. 2年目～4年目：モデル・コア・カリキュラム(基礎、臨床医学、実践的臨床医学への入門)
 - 1) 統合型カリキュラム
 - 2) 基礎医学と臨床的な疾患や病態との関連付け
 - 3) 教育専任スタッフの充実
 - 4) 地域医療・保健所での実習の充実
 - 5) PBLチュートリアルなどの少人数教育の充実と効率化
 - 6) 臨床経験(患者やコメディカルとの接触)のカリキュラム

卒前3年目

3. 共用試験
 - 1) 共用試験の費用分担
 - 2) 共用試験の位置づけ
 - 3) 共用試験の成績
 - 4) 共用試験とマッチング
 - 5) 医師不適格者の判定

卒前4年目

4. 5, 6年目：モデル・コア・カリキュラム(臨床実習)
 - 1) 診療参加型臨床実習の充実
 - 2) 大学病院での総合診療教育の構築と充実
 - 3) 地域医療(診療所)実習の充実と中核実習病院の構築と密なる連携
 - 4) 臨床実習と臨床研修での到達目標の重複
 - 5) 学生の医行為前教育について
 - 6) 医療安全教育

卒前5年目

5. モデル・コア・カリキュラムの充実と効率化にむけた教育施設充実と指導医の養成・確保
 - 1) モデル・コア・カリキュラムの充実
 - 2) 卒前教育と卒後研修の関連
 - 3) 指導医の養成・確保
 - 4) 医学教育センターの設置

卒前6年目

6. 全国の大学共通の卒業到達目標の設定
 - 1) モデル・コア・カリキュラムの卒業時検定に記載される能力(コンピテンス)
 - 2) 卒業時モデル・コア・カリキュラムによる卒後初期研修の到達目標との重複回避
 - 3) 卒業時モデル・コア・カリキュラムで医学生が行える医行為明示

国家試験

7. 大学医学部と大学病院との役割分担

卒後

卒後
初期臨床
研修
(1, 2年目)

8. 国家試験
 - 1) 理念の再確認
 - 2) 技能、態度に対する試験方法の導入

1. 臨床研修制度
 - 1) 理念
 - 2) 課題の整理と改善
 - 3) 大学病院での臨床研修の改善
 - 4) マッチング制度の見直し
 - 5) 新臨床研修制度の見直し

卒後中・後期
臨床研修
(3-6,7年目)

2. 専門医・高度医療職業人養成
 - 1) 専門医・高度医療職業人養成の構築と充実
 - 2) 大学病院の地域医療への貢献
 - 3) 医学研究の将来的低迷への危惧と大学院(高度医療職業人の養成)の充実

生涯学習

3. 生涯教育
 - 1) 生涯教育の充実
 - 2) Continuing Professional Development(CPD)プログラムの構築とキャリアデザイン
 - 3) CPDにおける大学病院の役割
 - 4) 女性医師
 - 5) 医師リクルートと地域への医師派遣